



### 大日駐車場周辺で見られる エドヒガンの群落



#### 天然記念物に指定されている貴重な群落

ソメイヨシノの親として有名なエドヒガンは、自生するサクラの中では最も長寿の桜であり、数百年を超えた老木が各地に生育しています。

福島県の三春滝桜や山梨県の山高神代ザクラなどが有名ですが、これらの多くは、国・県・市町村の天然記念物に指定されています。

兵庫県と大阪府の境界を流れる猪名川上流域では、エドヒガンが多く分布しており、川西市では一倉公園や妙見の森などで、市の天然記念物に指定されています。

また、エドヒガンは、川西市だけでなく、箕面市止々呂美や箕面大滝の北、大日駐車場周辺にも多く生育しています。

猪名川町、川西市から能勢町、豊能町、箕面市にまたがる猪名川上流域に限って、なぜ、エドヒガンが多く生育しているのでしょうか？

#### 箕面の地質、エドヒガンの生育に適した環境

箕面の地質では、山麓部には比較的新しい数百万年前の地質が分布していますが、山間部には数億年前の古生代から中生代にできた、風化が進んだ古い地質(丹波帯・超丹波帯)が混じって分布しています。また、大阪平野から眺めると山が屏風のように見え、この急斜面を下って流れてきた河川が深いV字谷を刻んでおり、箕面大滝などの大小の滝が見られます。多くの断層が走っており、地盤がもろく、地滑りや斜面の崩壊が起こりやすい地形や地質が特徴です。

エドヒガンの多くは、地滑りや斜面崩壊の起こりやすい地形や地質の環境に分布しており、陽当たりと適度な湿度を好む桜です。一方で、次世代を担う幼苗が見られないことや保全のための調査が出来ていないなどの課題もあります。貴重な長寿の桜であるエドヒガン、箕面市の天然記念物として指定し、次世代につなぐために保全すべきではないでしょうか？

### 辰年にちなんだ植物

十二支の中で辰(龍)だけが架空の生き物です。他の干支は実在する動物ですが、なぜ辰が干支に選ばれたのでしょうか？ 龍は権力や権威のシンボルとして縁起の良い生き物とされています。また、龍は雲を呼び雨を降らせる力があるといわれています。五穀豊穡をもたらす自然の恵み、龍を自然の恵みの象徴として、干支に選んだのかもしれないね。



フデリンドウ(筆竜胆)



リンドウ(竜胆)



ギンリョウソウ(銀竜草)



リュウノウギク(竜脳菊)



ツルリンドウ(蔓竜胆)の実



ツルリンドウ(蔓竜胆)の花



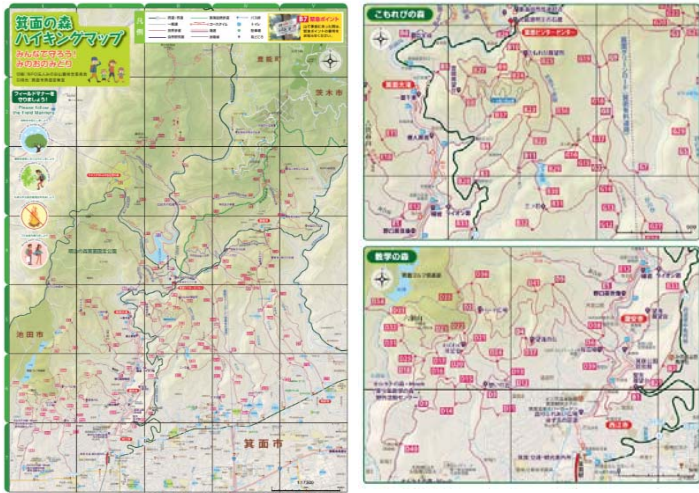
ジャユヒゲ別名リュウノヒゲ(竜の髭) ノボリリュウタケ(昇竜茸)



## 箕面の森の安心・安全、「緊急ポイント」や「箕面の森の道標」などの整備活動

箕面の森の中、ハイキング道の分岐点などに、「緊急ポイント」の看板が、多く設置されていることをご存じですか？街なかと違って、山の中で事件や事故が発生した時に、位置を知らせるのは非常に困難ですが、ハイキング道の分岐点などに「緊急ポイント」が設置されておれば、「緊急ポイント〇〇と〇〇の間で事故が発生」などと伝えることが出来ます。

山の中で、より正確、迅速に位置情報を伝えることを目的として、2008年から「緊急ポイント」の整備活動を始めており、案内板や道標などの設置を含めて、箕面の森をハイキングされる方々の安心・安全のための活動を続けています。



箕面の森ハイキングマップ 表 裏(こもれびの森・教学の森)



箕面の森 案内板(A3サイズ) 箕面の森の道標(A4サイズ)

### 箕面市消防本部と情報共有

この「緊急ポイント」の位置情報は、箕面市消防本部と情報を共有しています。万が一、事故や事件、山火事などが発生したときなど、緊急時における通報の際に、近くの「緊急ポイント」(例:G-4)を消防署119番に伝えてください。

緊急ポイントは、「箕面の森ハイキングマップ」に掲載しています。山中での事故や事件だけでなく、倒木やハイキング道の崩落など、自然災害が発生した時などに、場所を伝える情報としても活用できます。

また、ハイキングの際は、ハイキングマップに掲載の緊急ポイントを目印にして、コースを確認すると安心です。

### 来春に12ヶ所で追加設置し、計169ヶ所の予定

現在、緊急ポイントは157ヶ所に設置していますが、不足しているハイキングコースのポイントもあるため、2024年4月には12ヶ所を追加して、計169ヶ所とする予定です。

### 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会の活動

明治の森箕面国定公園やその周辺のハイキング道は、国や府や市など、さまざまな地権者や管理者などが関係しているため、手続きは複雑です。

緊急ポイントの設置や道標整備は、同協議会の活動として、行政や市民団体が情報の共有化や意見交換を通じて、合意形成を図りながら、市民団体が中心となって、設置や維持管理活動を行っています。

※明治の森箕面自然休養林管理運営協議会

(12の市民団体委員と7つの行政・研究機関委員で構成、事務局は山麓保全委員会) サポーター: 日本森林林業振興会

## 山林所有者の悩みに対応 / 山林整備ボランティアの派遣

山林の経済的な価値が低下する一方で、山林所有者の高齢化が進んでいます。山林相続に際して、「自分の山がどこにあるか分からない」「自然災害が心配」「所有権を放棄したい」など、山林所有者からのさまざまな悩みに対する相談を受けています。

山林所有者は、助成金を活用し、所有する山林を整備します。しかし、**山林の手入れをしたいが「高齢のため活動できない」「遠隔地に住んでいるので活動できない」**などの山林所有者からの相談を受けて、山麓委員会が山林所有者に代わって山の手入れを行うボランティアを派遣しています。

### 毎年増えるボランティア派遣要請

ボランティア派遣の要請件数は毎年増加しており、**2023年度は61件(前年より5件増)**となっています。山麓委員会では、増え続ける要請件数に応えるため、新規の山林整備ボランティアを増やすために、ボランティア養成講座を開催し(2023年度は2回開催)、計13名の方が修了しました。

2023年度は、全61件を「みのお里プラ」「箕面の森のきこり隊」「みのおフォレストーズ」「箕面マウンテンバイク友の会」の4団体が窓口となって、ボランティア派遣による山林整備作業を実施していただく予定です。



ボランティア養成講座 2023年5月:7人参加 10月:6人参加

ボランティア派遣 2023年11月 如意谷・外院

### 3/10(日) 教学の森で、植樹活動や防鹿ネットの設置を行います

教学の森(市有地)ハート広場にある東屋周辺では、ナラ枯れ被害によるブナ科の大径木(コナラ、クヌギなど)の立ち枯れが多く発生し、倒れると危険な状態でしたが、市による危険木の伐倒処理が順次、行われています。ただ、伐倒して放置したままの乱雑な状態では、景観的にも悪く、玉切りをして整理するなどの倒木処理が求められています。

そこで、日ごろ山林整備活動を行っている薪ストーブ利用者に声を掛けて、山林整備活動の一環として、材の玉切りや整理などを行ってもらい、資源として使えそうな材は利用してもらおう試みを行っています。

箕面の薪ストーブ利用者が、箕面市外から物流費(化石エネルギー)を払って、購入するのではなく、箕面の山林の整備活動に汗を流してもらいながら、資源として有効活用していただく、資源と活用の好循環をめざしたいと考えています。

3月10日(日)には、ハート広場周辺に、ブナ科(どんぐりのなる木)の苗木、50~70本の植樹を行う予定です。シカによる食害が予想されるため、防鹿ネットを設置する予定です。



ナラ枯れ枯死木(伐倒前)



伐倒処理後の材



玉切り、薪として利用(イメージ)



ブナ科の苗木を植樹(イメージ)

### 3/20(水・祝) こもれびの森で、5年目となる植樹活動や防鹿ネットの補修を行います

こもれびの森(市有地)は「生活環境保全林」として、市民に憩いの場を提供するとともに、水源かん養や土砂災害の危険を低減する機能の発揮が求められています。2018年の台風による風倒木被害の後、市民が中心となって、2020年から植樹や防鹿ネットの設置、下草刈りなどを行っています。

この間、防鹿柵の中では見違えるように豊かな植生が見られるようになりましたが、防鹿柵の外では、増えすぎたシカによる食害のため、裸地化した状態が続いています。

2021年度から防鹿柵外のハイキング道では、シカが嫌いなミツマタを植栽(計130本)した他、2023年度にはアセビ30本を植栽しました。2024年3月には、シカが比較的嫌いといわれているウリハダカエデの植樹を行う予定です。

※ウリハダカエデの植樹は、園芸業者に委託するのではなく、市民ボランティアが行う予定です。

**3月20日(水・祝)午前9時30分~12時ごろ(予定)** 集合:9時30分、緊急ポイントB9地点(オヶ原林道沿い)

※苗木購入やその他の資材費は、市民の皆さまから寄せられた募金を活用させていただきます。



### 4/29(月・祝)キューズモールで、箕面の森の「ふれあいひろば」を楽しむイベントを開催!

毎年、11月3日(祝)に瀧安寺前広場などで、「山とみどりのフェスティバル」を行っていますが、さらに多くの市民の皆さまに、箕面の自然や保全活動を知っていただき、自然体験などをさせていただくために、みのおキューズモール(Lステージや芝生広場)で、第3回になる「ふれあいひろば、みのおの山と遊ぼう!」のイベントを開催します。

多くの山麓保全活動団体が出展し、ご家族で楽しんでいただける自然工作や木こり体験などを行う他、ステージでは楽しい音楽や紙芝居なども企画しています。4/29日には、みのおキューズモールLステージにお集りください!

**○2024年4月29日(月・祝)午前10時30分~午後3時30分(予定)** ※雨天中止

※下は、2023年4月にみのおキューズモールで開催した際の写真です。



Lステージ



工作体験



紙芝居

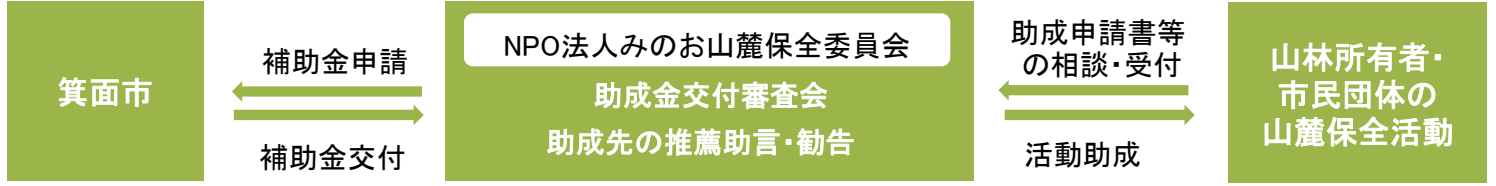


竹炭の頒布

## 2024年度「みのお山麓保全活動助成金」2月期の募集

みのお山麓保全活動助成金は、四季折々に美しい箕面のみどり豊かな山麓を守り、育て、活かすために、山林所有者や市民の活動を応援(助成)する仕組みです。毎年、前期(2月)後期(8月)にその年度の活動を募集しています。NPO法人みのお山麓保全委員会は、中間支援組織として、山林所有者や市民の活動支援や助成金を活用した活動の相談や助成申請の受付などの事務を行っています。お気軽に事務局までご連絡ください。

### 《みのお山麓保全活動助成金の仕組み》



- 申請受付期間: 2月1日(木)～29日(木) ■ 対象となる事業期間: 2024年4月1日～2025年3月31日
- 助成金額: 1件あたり25万円以内

■ 山林所有者への助成 箕面市環境保全条例により「自然緑地」として指定された山林において、その所有者が里山の管理を行う場合の助成金額は、土地登記簿面積1㎡あたり25円と計算します。(上限25万円)  
 ※助成申請のためには、自然緑地等指定同意書を提出していただく必要があります。

山麓保全活動の助成は箕面市の2024年度の補助金予算の範囲内で行います。このため、全体の応募件数によっては、助成の要件を満たす団体・活動であっても必ずしも助成の対象とならないことがあります。また、助成金の額は助成の対象となる活動にかかる経費であっても、必ずしも申請ごとの額を助成できるものではないことをご承知ください。

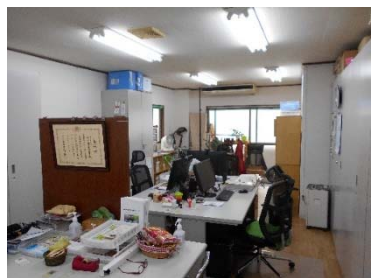
## 2023年度「みのお山麓保全活動助成金」の助成実績

- 山林所有者(箕面市環境保全条例による自然緑地指定同意書提出者)による活動を助成  
 件数: 89件、筆数: 246筆、面積: 457,960㎡、金額: 9,200,300円、山林整備サポート要請件数: 61件(前年より5件増)  
 新規自然緑地同意 件数: 2件、同意面積: 8,313㎡
- 市民団体等による活動を助成 件数: 16件、金額: 1,857,600円

活動団体名	助成金額	活動団体名	助成金額
1. 箕面の山パトロール隊	¥250,000	9. 箕面の森のきこり隊	¥49,000
2. 箕面だんだんクラブ	¥155,000	10. かやの中央まち育て交流会	¥250,000
3. しおんじ山の会	¥145,000	11. 箕面の森の音楽会実行委員会	¥180,000
4. 杜の会	¥49,000	12. 箕面ナチュラルリストクラブ	¥151,000
5. とんど山桜園の会	¥59,000	13. 外院の杜クラブ	¥6,000
6. みのおエコクラブ	¥165,000	14. 箕面ナチュラルリストクラブ(追加申請)	¥99,000
7. 森のふれあい広場運営委員会	¥82,000	15. みのおフォレストーズ	¥46,600
8. 箕面生物多様性会議	¥70,000	16. 中高大連携森林学習プロジェクト	¥101,000

## NPO法人みのお山麓保全委員会の事務所が移転しました。

NPO法人みのお山麓保全委員会は、2014年1月に箕面文化・交流センターに事務所を構えて、10年近くになりましたが、箕面文化・交流センターが、2023年度末(2024年3月31日)をもって、建て替えにより閉館となるため、事務所を移転することになりました。新しい事務所は、阪急箕面駅前の「箕面駅西」交差点から歩いて直ぐ、箕面駅前ビルの3階です。市民や山林所有者の皆さま、行政など関係者の皆さま、お気軽に、新しい事務所にお立ち寄りください。



NPO法人 みのお山麓保全委員会  
 〒562-0001箕面市箕面1-2-6 箕面駅前ビル3階301号  
 電話&FAX: 072-724-3615 携帯電話: 090-1133-3615  
 メール: yama-nami@yama-nami.net  
 ホームページ: www.yama-nami.net(検索: 山なみネット)  
 \* 箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

